

事業者向け 児童発達支援自己評価表

公表:2026年 4月 4日

永山こども発達支援センターぼの

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			小集団や親子通園の特性に合わせ、安心して過ごせる空間づくりと活動設定を行っています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			お子さまの状態や親子関係に配慮し、柔軟な人員配置を行っています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			室内外の安全面に配慮し、発達段階に応じた環境調整を行っています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			日々の振り返りやミーティングを通して、支援の見直しと改善を行っています。
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者様との日常的なやり取りや面談からニーズを把握し、支援に反映しています。
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			自己評価結果を公表し、開かれた事業所運営に努めています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	必要に応じて外部の助言を取り入れ、支援の質向上を図っています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			事例共有を中心に、実践に即した学びの機会（ぼのと合同毎週月曜日）を確保しています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			親子の関わりや生活状況も含めてアセスメントを行い、計画へ反映しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			観察や記録をもとに、お子さまの特性や変化を丁寧に捉えています。
	⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			発達支援に加え、家族支援の視点を重視した支援内容を設定しています。
	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			個別支援計画に基づき、一貫した関わりを大切にしています。
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員間でお子さまの様子や支援方針を共有しながら活動を組み立てています。
	⑭	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか			○	お子さまの興味や気持ちを大切にしながら、柔軟に活動内容を調整しています。
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			個別活動と小集団活動を組み合わせ、無理のない参加を促しています。
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援前にお子さまと保護者様の状況を共有し、関わり方を確認しています。
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援後は職員間で振り返りを行い、HUGアプリにて保護者様へ気づきを共有しています。
	⑱	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の記録を丁寧に、支援の振り返りに活用しています。
	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			状況に応じて柔軟にモニタリングを行い、支援内容の見直しを行っています。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			相談支援専門員や関係機関と連携し、支援の方向性を共有しています。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			保健・医療・福祉・教育機関と連携しながら支援体制を整えています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	—	—	—	
	㉓	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	—	—	—	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	24	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			関係会議等へ参加し、地域との連携を図っています。
	25	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			日々の様子を保護者と共有し、共通理解を深めています。
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			必要に応じて家庭支援の視点から助言や関わり方の提案を行っています。
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	時間帯や感染症にて具体的実施には至りませんが、お子さまの状況に応じて、他児との関わりや交流の機会を大切にしています。
	28	（自立支援）協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			必要に応じて地域の会議や情報共有の機会に参加しています。
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			日々のやり取りを通して、お子さまの様子や発達について保護者と共通理解を図っています。
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか		○		家庭での関わり方について一緒に考え、保護者の対応力向上につながる支援を行っています。
保護者への説明責任等	31	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時等に、利用に関する内容について丁寧に説明しています。
	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			個別支援計画について保護者様と確認しながら説明し、同意を得ています。
	33	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			子育ての悩み等に対し、寄り添いながら具体的な助言を行っています。
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			感染症の流行により、見合わせていましたが、今後は保護者様向け研修会と合同で開催できるよう検討します。
	35	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			相談や申し入れに対応できる体制を整え、迅速な対応に努めています。
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			活動の様子や連絡事項を、アプリ等を通して継続的に発信しています。
	37	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			PCファイルはID・パスワードを入力することで管理しています。またSECURITY ACTION(二つ星)を宣言(情報セキュリティ対策に取組むことを自己宣言する制度)を実施しております。
	38	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			わかりやすい言葉や方法を用いて、丁寧な情報共有を行っています。
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			必要に応じて地域とのつながりを意識した支援を行っています。
非常時等の対応	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			避難訓練は(地震、火災、水害、ミサイル、不審者)を想定し、実施しています。
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			避難訓練等を実施し、非常時に備えています。
	42	事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			契約時に、予防接種の状況をシートに記入欄を設けており、その他の疾患等についても確認を行っています。
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			食物アレルギーについては、家庭からの情報をもとに適切に対応しています。
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			情報の共有を行い、安全な支援環境づくりに努めています。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止に関する確認や学びを行い、適切な関わりを大切にしています。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○		必要時の対応について方針を整理し、安心できる支援体制を整えています。